

国語科学習指導案

単元名 「説得力のあるスピーチをしよう」
(評論「ガイアの知性」龍村 仁／教育出版)

第2学年A組 於：2A教室

令和3年10月22日(金) 第4時限

奥原実践のねらい

- 「考えを基に表現する場」で拡散的思考と収束的思考を働かせることが、資質・能力を育み、目指す生徒像を達成することに有効であるかどうかを「足跡シート」や付箋紙の記述、スピーチの「本番の発表」を見取ることで検証する。
- 拡散的思考中のモニタリングとして、ペアの生徒のスピーチを教師の示した観点に沿って分析し、他者がどのような知識を基にどのような表現を取り入れたかや、どのような流れでスピーチをしていたかを自分と比較し検討させながら、別の表現の仕方は無いか考えさせ、必要に応じてスピーチを表現し直させることが資質・能力を育むための手立てとして有効であったかを、「足跡シート」の記述を見取ることで検証する。

第2学年A組 国語科学習指導案

令和3年10月22日（金）第4時限 2A教室

指導者 奥原 章子

1 単元名 「説得力のあるスピーチをしよう」

評論「ガイアの知性」（龍村 仁／教育出版）

2 単元の構想

(1) 単元設定の理由

本単元では、論理的に筋道を立てて述べ、読み手を説得することをねらいとした文章である評論を読み、筆者の言葉の使い方や文章構成の工夫に着目して、論理の展開の仕方を捉えることを通して、主張に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成する。そして、形成した自分の考えを基に、聞き手を説得することをねらいとしたスピーチをさせる。それによって、論理の展開を意識することが、主張に説得力をもたせられることを自覚させることができると考える。

スピーチは、表現媒体が音声であるため、話の内容を読み返すことができない。そのため、一貫性のない言葉を使うことや、煩雑な話の構成を展開することは、聞き手の理解の困難になることにつながる。ゆえに、一度で聞き手が理解できるようによりよい言葉の表現にしたり、話の構成の工夫をしたりしてスピーチをすることが必要であると考え。また、スピーチとは発表を通じて、自分の主張に説得力をもたせて相手に伝える活動である。スピーチをはじめとする話す活動においては、姿勢や表情、発声などの能力や、身振りや資料を提示するなどの非言語コミュニケーションも必要な要素ではあるが、本実践では言葉の使い方や話の構成を工夫することに重点を置き、指導していく。

以上のことから、「説得力のあるスピーチをする」を「言語活動」として、本単元を設定する。そして、単元の課題を「評論文『ガイアの知性』を読み、筆者の言葉の使い方や文章構成の工夫に着目して、説得力をもたせるための工夫について考え、『世の中をよりよくするためにどうすべきか』をテーマとし、説得力のあるスピーチをする」とする。「世の中をよりよくする」という広いテーマ設定とすることで、様々な視点をもつ聞き手を納得させるために主張を支える根拠や根拠を裏付ける具体例が必要になることに気付くことができると考える。そして、この言語活動を行うことによって、主張に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを主体的に形成することにつながる。

(2) 本単元における教材と指導

本作品において筆者は、鯨や象は「受容的な知性」をもち、この地球で生きながらえてきているのに対し、人類は「攻撃的な知性」をもち、地球全体の生命を危機に陥れていることを根拠として、人類は鯨や象からさまざまなことを学び、ガイアの知性に進化する必要があるという主張をしている。そして、身近な存在ではない鯨や象の「受容的な知性」については、複数の具体例を示すことで読み手を納得させやすくしている。その言葉の使い方の工夫や文章構成について、次の二点について着目させることで、筆者の論理の展開の仕方について捉えさせたい。

一点目は強調する部分の言葉の使い方に着目させたい。例えば、序論で「なにかとてつもなく大切なもの」という言葉が使われているが、それが本論では「全く別種の『知性』」と述べられて

おり、結論では、「受容的な知性」という言葉に言い換えられていく。このように強調して伝えたいことについて言葉を言い換えたり繰り返したりすることにより、主張と大きく関わることを捉えさせる。

二点目は接続する語句に着目させたい。例えば、「これらの点からみれば……。しかし——。」や「だからこそ」というような、接続する語句を使うことで、明確な文章構成になっている。それが論理の展開が分かりやすくしていることを捉えさせる。

このような点から、主張に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成するためには、論理の展開を意識することが必要不可欠であることを捉えることができると思う。

本単元は次の流れで行う。

①「はじめの時間」	「単元の課題」を知らせる。説得力のある話をするための工夫についての既存の知識を確認させる。また、論理の展開の仕方という観点から、説得力が足りないスピーチを動画で見せる。最後に本文を通読し、『『ガイアの知性』を読んで納得できた度合い』を百分率で表し、そう考えた根拠とともに、はじめの感想として付箋紙に記述させる。
②③「ひとり読み」	筆者の言葉の使い方や文章構成の工夫に着目して、論理の展開の仕方について捉えさせ、主張に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成し、「ひとり読みシート」に記述させる。最後に「筆者の主張についての自分の考え」を付箋紙に記述させる。
④「読みの交流」 1	「ガイアの知性」の、根拠と具体例の関係について、筆者の言葉の使い方や文章構成の工夫に着目して、「ひとり読み」で捉えたことから発表させる。根拠と具体例の関係についての自分の考えを付箋紙に記述させる。
⑤「読みの交流」 2	「ガイアの知性」の根拠と主張の関係について、筆者の言葉の使い方と文章構成の工夫に着目して、「ひとり読み」で捉えたことから発表させる。根拠と主張の関係についての自分の考えを付箋紙に記述させる。
⑥「読みのまとめ」	主張に説得力をもたせるための工夫について考える。そして、スピーチに生かすことができる知識について考え、足跡シートにまとめ、記述させる。
⑦「下書き」 1	「世の中をよりよくするためにどうすべきか」をテーマとするスピーチを考えさせる。使う言葉や話の構成を考え、スピーチの構成メモを作成させる。
⑧「下書き」 2	構成メモを参考にしながら、Chromebookでスピーチを録画させる。何度か練習して一番良いと思うものをロイロノートで提出させる。
⑨「意見交流」(本時)	分析の観点に沿って、友達の録画されたスピーチの分析を行わせ、分析したことを基にして、よさや改善点を伝え合わせる。その後、「本番の発表」をする上で参考にしようと思ったことを付箋紙に記述させる。
⑩「本番の発表」	友達からもらった助言について考えたことを基に、スピーチの見直しをさせ、グループで発表させる。
⑪「まとめの時間」	単元のまとめとして、「足跡シート」に学習過程と思考方法の振り返りを記述させる。

3 単元の指導計画（後掲資料①）

4 本時の指導（第9時）

(1) 指導の意図

本時は、前時までに録画した「世の中をよりよくするためにどうすべきか」をテーマとする録画したスピーチの「下書き」をペアで視聴し合い、主張に説得力をもたせるための工夫について、前時の教師の示した分析の観点を基に、分析したことを伝え合い、より適切な表現の仕方を吟味する「意見交流」を行う場である。ここでは、「強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいる」「接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしている」「具体例を基に根拠を述べている」「主張を支える根拠が適切に述べられている」という四つの分析の観点到絞って「意見交流」を行わせる。

録画したスピーチの「下書き」を分析の観点到沿って視聴し合わせ、「意見交流」を行わせる。はじめに、スピーチを聞いて分析の観点到沿って分析し「意見交流シート」に記述させ、それを基に、論理の展開を意識して話すことができているかということについて意見を伝え合わせる。そして、別の表現の仕方は無いか考えさせ、必要に応じて表現し直させる（「拡M」）。そうすることで、主張に説得力をもたせるための工夫についての様々な表現の仕方を生み出させることができる。

次に、ペアで「意見交流」したことについて学級全体で交流することで、スピーチの表現の仕方について吟味させる。そして、「友達のスピーチの表現の仕方についての意見で取り入れたいと思ったこと、取り入れないと思ったことは何か」問いかけ、付箋紙に記述し発表させる（「収M」）。

このように「意見交流」を通して適切な表現の仕方を吟味することで、「本番の発表」でよりよいスピーチができるようになったり、「まとめの時間」でより言葉についての汎用性のある知識の習得につながったりすると考える。

(2) 本時の目標 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

思 「意見交流」を通して、主張に説得力をもたせるための工夫について自分の考えを記述している。

態 「意見交流」を通して、自分のスピーチを見直し、必要に応じて改善しようとしている。

(3) 準備物

教師：「意見交流シート」、付箋紙

生徒：Chromebook、イヤホン、構成メモ「下書き」シート

(4) 指導過程

*：指導上の留意点 評：評価規準

時間	主な学習の流れ	指導上の留意点 及び 評価の観点
5	1 前時までの学習を振り返る。 * 1, 2	* 1 分析の観点を確認した上で、提出したスピーチをChromebookで見直し、どのような点を工夫して表現したのかを振り返らせる。 * 2 「強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいる」「接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしている」「具体例を基に根拠を述べている」「主張を支える根拠が適切に述べられている」という四つの分析の観点を示す。
2	2 本時の学習内容を知る。	

	<p>「意見交流」を行い、説得力のあるスピーチについての、より適切なスピーチの表現を考えましょう。</p>	
<p>38 (20)</p>	<p>3 「意見交流」を行う。</p> <p>(1) 前後、左右の席の友達と意見交流を行う（「拡M」）。 * 3, 4, 5, 6</p>	<p>* 3 ロイロノートで共有されたペアの生徒の録画したスピーチの「下書き」を、自分のChromebookを使用して視聴させる。</p> <p>* 4 ペアの生徒のスピーチを聞いて意見交流シートに記述する時間を5分、交流する時間を4分設ける。</p> <p>* 5 分析の観点に沿ってスピーチを聞いて分析するよう指示し、説得力のあるスピーチになっているかを評価するように伝える。</p> <p>* 6 声の大きさや身振り、表情などの話し方の工夫については評価に含めないということを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の国会議員は年齢層が高いという語句がはじめに出てきますが、根拠の中では「高齢者」という言葉を使っています。それを「年齢層が高い議員」に言い換えたほうが、「若い国会議員を増やすべき」という主張に対して比較していることを強調できるので効果的だと思います。 ・文や言葉をつなぐ言葉がほとんどなかったので、話の構成が分かりにくかったです。「例えば、韓国ではフリーWi-Fi が至る所にあり、旅行で困ることがありませんでした。それに対して日本では安全なフリーWi-Fi の普及が遅れているため、海外からの旅行者は困っています。だからこそ、日本も安全で便利なフリーWi-Fi を街中に整備すべきだと思います。」とするほうが良いと思います。 ・「入試問題や国語テストの漢字テストを選択式にするべき」という主張の根拠が「スマホやパソコンなどの ICT での仕事がほとんどで、書けなくても困らないから」というものでしたが、「どういう点で困らないか」という具体例を入れたほうが良いと思います。 ・「消費税を5%に戻すべき」という主張の根拠が「消費が落ち込んだから」ということだけでしたが、それだけでは根拠が十分とは言えないので「消費税が増税したこと」も根拠として付け加えたほうが良いと思います。 </div>
<p>(18)</p>	<p>(2) 学級全体で交流する。 * 7, 8</p>	<p>ペアでの「意見交流」で、友達に指摘されたことや指摘したことについて、学級全体で交流しましょう。</p> <p>* 7 「意見交流」で指摘されたことや指摘したことについて、全体で発表するように促す。</p>

* 8 指摘されたことや指摘したことについての、より適切な表現についても発表させる。

〈予想される生徒の反応〉

- ・「高齢者」という言葉を使うのではなく、一貫して「年齢層が高い」という言葉を繰り返したほうがよいという指摘を受けました。はじめから終わりまで一貫して「年齢層が高い」という言葉を繰り返した方が伝えたいことを強調していて、よいと思いました。
- ・文や言葉をつなぐ言葉が少ないと指摘しました。「そのため」「だからこそ」などの言葉を取り入れることで、主張や根拠、具体例がつながると思いました。
- ・「入試問題や国語テストの漢字テストを選択式にするべき」という主張の根拠が「スマホやパソコンなどのICTでの仕事がほとんどで、書けなくても困らないから」というものでしたが、「どういう点で困らないか」という具体例を入れたほうが良いという指摘を受けました。「ICT を使って文章を書くことが多くなり、漢字を手書きで書くよりも選ぶことのほうが多い」という具体例を入れようと思います。
- ・「消費税を5%に戻すべき」という主張の根拠が「消費が落ち込んだから」ということだけでは根拠が適切だとは言えないと指摘されました。「消費税が増税して消費が落ち込んだこと」を根拠にしようと思います。

5 4 「意見交流」を通して考えた、主張に説得力をもたせるための工夫についてのより適切なスピーチの表現の仕方を考え、付箋紙に記述する（「収M」）。

* 9

* 9 「意見交流」での指摘されたことを踏まえ、「友達の表現の仕方についての意見で取り入れたいと思ったこと、取り入れないと思ったことは何か」と問いかけ、付箋紙に記述するように促す。

思 「意見交流」を通して、主張に説得力をもたせるための工夫について自分の意見を記述している。

態 「意見交流」を通して、自分のスピーチを見直し、必要に応じて改善しようとしている。

後掲資料①

単元の指導計画（11 時間完了）

単元名 2年「説得力のあるスピーチをしよう」（「ガイアの知性」龍村仁／教育出版）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	言葉の使い方や文章構成に着目して、論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について理解を深めることができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、自分の考えを形成し、話の構成を工夫して表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

M：モニタリング RM：リフレクション・モニタリング (話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		はじめの時間 ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（説得力のあるスピーチをする）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「説得力のある話をするための工夫」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。M	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。
		ひとり読み ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。M	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠のいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について	○ 「読みの交流」を踏まえて、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠のいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるための工夫につ	○ 「ひとり読み」で、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠のいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるための工夫についての自
		読みの交流1 ○ 本文中の具体例が支える根拠についての「読みの交流」を行う。 ○ 読みの交流で捉えたに具体例が支える根拠についての自分の考えを付箋紙に記述させる。M	④				

後掲資料①

	<p>読みの交流2</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 本文中の根拠が支える主張についての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で捉えた根拠が支える主張についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</p>	⑤		<p>ための工夫について理解している。</p>	<p>いての自分の考えを形成している。(読)</p>	<p>分の考えを形成しようとしている。</p> <p>○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。</p>
	<p>読みのまとめ</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「主張に説得力をもたせるための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</p>	⑥	<p>方法</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>
<p>考えを基に表現する場</p>	<p>下書き</p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M</p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「世の中をよりよくするためにどうすべきか」についてのスピーチの「下書き」をする。拡M</p> <p>○ テーマについてのスピーチの構成メモを考えさせる。</p> <p>○ Chromebook でスピーチを録画させる。</p> <p>意見交流</p>	⑦ ⑧	<p>A</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられた根拠から論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について自分の考えを形成している。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分のスピーチを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>

後掲資料①

収束的思考を働かせる場面	<p>○ 自分や他者のスピーチの内容について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M</p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M</p>	⑨ (本時)	B	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられる根拠のいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるための工夫について理解している。</p>	<p>○ 「読みの交流」を踏まえて、強調する部分の言葉の使い方や接続する語句に着目して、主張を支える根拠や、具体例を基に述べられる根拠のいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるための工夫についてスピーチをしている。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、自分のスピーチの内容を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p>本番の発表</p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M</p> <p>○ 本番の発表を行う。</p>	⑩		<p>方法</p> <p>・スピーチ ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ ・足跡シート</p>
	<p>まとめの時間</p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。拡・収RM</p>	⑪				

後掲資料② 評価指標

スピーチの評価指標

スピーチの評価指標		
①	強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいるか。	1
②	接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしているか。	1
③	具体例をもとに根拠を述べているか。	1
④	主張を支える根拠が適切に述べられているか。	1

スピーチでは、考えを形成する場を通して、論理の展開を意識して、説得力のあるスピーチをしているかを評価していく。

評価については、上記に掲げた評価指標を用いて行っていく。3ポイント以上の場合は「A」とする。1ポイント以下の場合は「C」とする。

後掲資料③ 「ガイアの知性」 学びの足跡シート

二年 番 名前

◎ 単元の課題

評論文「ガイアの知性」を読み、言葉の使い方や文章構成に着目して、主張に説得力をもたせるための工夫について考え、「世の中をよりよくするためにすべきこと」をテーマとする説得力のあるスピーチをしよう。

◎ 単元を始めるにあたって

--

◎ 考えを形成する場

○ はじめの時間↪読みの交流

はじめの時間	
読みの交流①	
ひとり読みを終えて	
読みの交流②	

○ 読みのまとめ

--

◎ 考えを基に表現する場

「読みのまとめ」を参考に、スピーチをする際に生かしたい知識を書こう。

--

○ 下書き〜意見交流（別紙）

	意見交流を終えて
--	----------

○ 清書（別紙）

◎ まとめ時間

<p>A どのような知識を習得したか</p>	<p>B 習得した知識がこれまでの学習や生活とどのように結びつくか</p>	<p>C 習得した知識が今後どのような場面でいかしていけそうか</p>
<p>① 自分の「下書き」と「本番の発表」に点数をつけ、その点数の理由と点数が変化した理由を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下書き 【 点 ・ 本番の発表 【 点 ・ 点数の理由と点数が変化した理由 <p>② 自分の思考を5段階で振り返ろう</p> <p>・ 「下書き」「意見交流」を通して、自分の表現と他者の意見を比較し検討しながら、別のスピーチの表現の仕方はないか考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">【 5・4・3・2・1】</p> <p>・ 「意見交流」「本番の発表」を通して、適切な表現の仕方を吟味し、表現することができたか。</p> <p style="text-align: right;">【 5・4・3・2・1】</p>		

後掲資料④「ガイアの知性」スピーチ構成メモ【下書き】

二年 組 番 名前

- ◎ 「ひとり読み」や「読みの交流」「読みのまとめ」で習得した知識を基に「世の中をよりよく
するために必要なことをテーマとした説得力のあるスピーチをしよう。
また、2分以内でスピーチをしよう。

◎ スピーチの分析の観点

- ① 強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいるか。(繰り返し、言い換え等)
- ② 接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしているか。
- ③ 具体例をもとに根拠を述べているか。
- ④ 主張を支える根拠が適切に述べられているか。

- ◎ 必要に応じてスピーチの構成メモを作りましょう。

後掲資料⑤ 「ガイアの知性」意見交流シート

二年組 番 名前

◎ 友達の「世の中をよりよくするためにすべきこと」をテーマとしたスピーチを聞いて、感じたことをメモにとりましょう。

※ ○の中は1〜3の点数を書きましょう。文法的な誤り・誤った言葉遣いは直接伝えましょう。

さん	<p>○分析の観点</p> <p>ア 強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいるか。(繰り返し、言い換え等)</p>	さん	<p>○分析の観点</p> <p>ア 強調して伝えたい内容に合わせて効果的に言葉を選んでいるか。(繰り返し、言い換え等)</p>
<p>イ 接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしているか。</p>	<p>イ 接続する語句を用いて話の構成を分かりやすくしているか。</p>	<p>ウ 具体例をもとに根拠を述べているか。</p>	<p>ウ 具体例をもとに根拠を述べているか。</p>
<p>エ 主張を支える根拠を適切に述べているか。</p>	<p>エ 主張を支える根拠を適切に述べているか。</p>	★その他	★その他